

江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会議名	平成 24 年度第 2 回 第 1 分科会（生活環境、産業分野）
日時	平成 24 年 10 月 24 日（水） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
場所	江南市消防署 3 階 大会議室
出席者	市民委員 後藤 俊夫、藤田 泰雄、宮川 秀男、望月 晴夫、安藤 哲子、岩井 喜美子、前田 哲郎、松本 千賀子
	市職員 米田 隆彦、小塚 昌宏、大藪 勝寛、伊藤 幸実、水野 修、古田 勝己
議題	1. 前回の議事要旨について 2. 施策評価の結果について
資料	第 1 回まちづくり会議 議事要旨

◆ 会議結果 ◆

1. 前回の議事要旨について

- ・資料に基づき、事務局より前回の会議の議事要旨について説明がありました。

2. 施策評価の結果について

〔柱 2〕 消防・救急体制の充実

- ・資料 2 に基づき、委員（総務予防課長、消防署長）より説明がありました。

〔施策①②〕 消防体制の充実

- ・消防団員数について質問があり、団員は 183 名おり、団員の退職補充がうまく出来ているとの説明がありました。また、消防団員の平均年齢や人口比での団員数など、他自治体との比較について質問があり、次回までに資料を用意することとなりました。
- ・救急救命士運用者数などいくつかの指標については、基本計画の見直し時に新たに追加した指標であるとの説明がありました。
- ・防火水槽の漏水がないかなど消防水利のチェックは行っているかとの質問に対して、年 3 回点検しているとの説明がありました。
- ・消防水利のチェックについては、地域で行うことにより、市民の意識の向上にもつながるのではないかと市民からの意見がありました。

〔施策⑤〕 火災・救急救助体制の強化

- ・民間も含めた AED の設置数について質問があり、公共施設 35、病院 30、企業 29、合計 94 箇所に設置されているとの説明がありました。
- ・年間の救急出動回数について質問があり、平成 23 年の出動件数は 3,809 件で、急病が約 2,500 件、交通事故が約 500 件あったとの説明がありました。また、平成 24 年は 9 月末までで 3,017 件あり、昨年と比較して増えているとの説明がありました。
- ・救急車は適正に利用されているのかとの質問に対して、119 番通報があれば現場までは必ず向かうこととしており、電話で適正利用かどうか判断することは難しく、最終的には、市民のモラルの問題となるため、今後も啓発活動に努めていくとの説明がありました。
- ・身近に起きた事例では、「胃が痛い」との症状で救急車を呼ぶべきかためらわれたが、救急車を呼んで命が助かったことがあった。10 分遅かったら心筋梗塞で亡くなっていたかもしれず、感謝しているとの市民からの意見もありました。

- ・独居老人を対象にペンダント式の緊急通報装置を提供する制度や、郵便局と協定を締結し、ポストの郵便物がたまっている場合に郵便局員から通報してもらっている事例など、市の福祉部門が実施している事業の紹介がありました。

〔柱3〕 快適で便利な日常生活の確保

- ・資料2に基づき、委員（市民サービス課長）より説明がありました。

〔施策②〕 窓口サービスの向上

- ・外国人の人数について質問があり、平成21年3月1日時点では1,963人いたが、平成24年3月1日時点で1,595人となっており、ブラジル人の減少がおもな要因であるとの説明がありました。
- ・住民基本台帳カードの発行枚数についての質問があり、平成24年3月末時点で5,859枚発行しているが、あまり伸びていないとの説明がありました。
- ・窓口での手続きも以前より速くなったとの意見がありました。

〔施策③〕 市民の足の確保

- ・いこまいCAR（予約便）の利用がこのまま増えていくと税金の負担が大きくなりすぎないか、また、すいとびあ江南で市のイベントが開催されても公共交通機関がないと集客が難しいなどの意見がありました。
- ・市では平成23年7月から、副市長を委員長に、交通体系等検討委員会を発足し、市全体の交通体系を検討しており、既存の名鉄バスの路線を江南厚生病院からすいとびあ江南まで延長するとともに、江南団地行きの名鉄バスの一部を東野、アピタ江南西店を経由することにより、現在2コース運行しているいこまいCAR（定期便）を廃止できないか検討しているとの説明がありました。
- ・公共交通の運営はどこでも厳しい中、江南市のように小型のタクシーから大型のバスへの移行を検討する例は一般的に珍しいが、バス路線を市の公共交通の基幹とするため、ぜひとも実施したいと考えている。また、名鉄バスの赤字分が出た場合には、いこまいCAR（定期便）の運行経費分で補填することも想定しているとの説明がありました。
- ・いこまいCAR（予約便）についても、利用金額に上限を設けたり、タクシー配車台数に制限を設けるなどの対策を今後検討していくとの説明がありました。
- ・また、名鉄犬山線東側のエリアが交通空白地帯となっており、扶桑町や大口町との連携も含めて、今後検討していくとの説明がありました。
- ・いこまいCARやバスなどのきめ細かい交通手段があると、毎日病院へ通う人や近所で買い物できない人にとっては、非常に助かるとの意見がありました。
- ・今はネットスーパーや宅配サービスも充実しているとの意見や、お店で買い物することで人とのつながりを求めるニーズもあるのではないかと意見もありました。